

みんなのた場

スポット
ライト

雄勝産ワインに挑戦

モリウミアスファーム

豊かな自然を学ぶ場に

東日本大震災で大きな被害を受けた雄勝地区で、ブドウ農園作りとワイン醸造を行うワイナリーの建設が進んでいます。地方創生や自然再生に官民連携で取り組む一般社団法人「モリウミアスファーム」が手がけており、令和5年から農園整備が行われています。

旧雄勝中学校跡地など被災した約1・3畝の土地にワイン用のブドウ約1300本を植えており、今も順調に成長しています。今年3月からはワイナリーの建設も始

まり、10月のプレオープンに向けて工事が進んでいます。ワイナリーは雄勝の「食の拠点」としてワイン醸造や保管、販売のほかに食品加工場も備え、地元の水産物などを加工してワインと共に届ける予定です。炊事場が併設され、食の体験もできるように

なるといいます。建物には雄勝産を含む県産木材が使われており、外壁や屋根には雄勝石も活用されています。

農園とワイナリーは、被災跡地に官民連携で産業をおこす「雄勝ガーデンパーク

事業」の一環です。同ファームの油井元太郎代表理事は「ワインや豊かな食材、自然を通して人が集まり、雄勝の未来が持続性のあるものになれば」と期待します。施設が完成する10月には住民を招いたお披露目会を予定し、11月のグランドオープンに向けてます。

現在は山形県の農家からブドウを購入し、県内の醸造所に委託してワインを醸造しています。苗木が収穫可能になる令和11年に自前のワイナリーで醸造を開始し、翌12年には「雄勝産ワイン」が出来上がる見込みです。

雄勝の豊かな自然を生かし、さまざまな学びを提供している旧桑浜小学校の複合施設「モリウミアス」は夏休み中、1週間単位で都市部の子どもたちを受け入れ、ここでしかできない体験を提供しました。ブドウ農園では子どもたちが虫取りを楽しみ、自然の中でさまざまな発見をしていました。



建設中のワイナリーと油井代表理事



まだ小粒な雄勝産のブドウを味見する子どもたち

きらり★まきっこ 18

先輩の背中追ってより強く

みうら はな 三浦 羽菜さん (万石浦中3年生)

姉の影響で4歳の時に柔道を習い始めました。最初は怖い競技という印象を持っていましたが、実際やってみると楽しく、6年生の時には県大会で3位になることもできました。

中学校の柔道部では、1年生の時に県大会の団体の部で優勝しました。2年生の県大会では個人の48kg級で3位に入ったほか、団体で再び優勝し、2年連続で全国の舞台を味わうことができました。県大会とは異なって技が通用しない相手があり、全国レベルを知れたのは貴重な経験でした。

自分は先輩たちの背中を追って強くなれた面もあります。皆、高校でも柔道を続けて活躍しているので、自分も高校でインターハイに出られるようこれからも練習に励みたいです。



市報いしのまき 第325号 令和7年9月1日発行
発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作 (株)石巻日日新聞社
古紙/パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数(前年比)			
令和7年7月末現在	人 口	130,856人	(▲2,236)
	世帯数	62,506世帯	(▲32)